

2016 年熊本地震に関する「地震および対応」についてレクチャーを行いました (2016/4/15)

テーマ：緊急調査、2016 年熊本地震

平成 28 年（2016 年）熊本地震の発生を受け、当研究所では 4 月 15 日 9:00、「災害調査対応本部」を設置し、同日 13:00 より、「熊本地震 地震および対応について」と題しレクチャー（説明会）を行いました。報道機関 9 社ほか、所内外の関係者 20 名ほどが参加しました。レクチャーでは、1) 今村文彦所長より「平成 28 年(2016 年)熊本地震の概要、災害科学国際研究所と当研究所における災害調査対策本部の役割について」2) 遠田晋次教授（災害理学研究部門）より「今回の地震発生のメカニズムと活断層の特性、今後の検討課題について」3) 大野晋准教授（災害リスク研究部門）より「地震動の記録から見える今回の地震の揺れと過去の地震との比較について」4) 佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）より「被災地における避難所数・避難者数からみる避難者の健康管理と今後のケア、地域コミュニティの役割について」それぞれ発表がありました。また、今後の現地調査実施予定などについて公表しました。これらの内容については、下記の特設ページに逐次更新していく予定です。また、IRIDeS News でも公開してまいります。

平成 28 年（2016 年）熊本地震に関する特設ページ

http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html

IRIDeS News

<http://irides.tohoku.ac.jp/irides-news/>

